

ご購入はこちら

特設

ゼロから 学ぶOS



特設筆者
豊山 祐一

本記事は、2023年7月号の特集「ゼロから作るOS」を基に、マイコン用のリアルタイムOSの基礎知識や、特集で作成した自作OS「Try Kernel」の仕様、仕組みなどを中心に再編集したものです。

2023年7月号をお持ちでない方にも、本記事を読むことでマイコンの自作OSに関する基本的な知識を得られます。今回の特集記事「ゼロから作るマルチコアOS」とともに読んでいただければ、より理解も深まると思います。

さらに、本記事では新たに「タスク間でデータ通信を行う…メッセージ・バッファ」の章を新規に掲載しました。メッセージ・バッファは、タスク間で任意のデータを通信するための便利な機能です。既に2023年7月号の特集をお読みいただいた方にも役立つ内容となっています。

なお、本記事を再編集するに当たり、Try Kernelの具体的な実装やアプリケーション・プログラムの作成は割愛しました。これらについては、公開されているソースコードや2023年7月号（本誌バックナンバーとしてCQ出版WebShopで販売中）を参照していただければ幸いです。

また、Try Kernel自身も、このメッセージ・バッファの機能追加を中心に更新し、Try Kernel 2.0にバージョンアップしました。本記事はTry Kernel 2.0に対応しています。Try Kernel 2.0については今回の特集記事「ゼロから作るマルチコアOS」の中でも説明しておりますので、合わせてご覧ください。